

道

2020・4・29

通信 No 1582



ら
さ
き
ケ
マ
ン



二宮悠太先生からのメッセージ届きました

新型コロナウイルス感染症の影響で息苦しい昨今ですが、皆様、元気に過ごされていますでしょうか。若者に負けないパワーをお持ちの「道」の皆さんならばきっと大丈夫だろうと思っています！

練習ができなくなってから2ヶ月が経ちました。月2回、大事なライフワークとなった岡野中学通いも叶わず、悶々と寂しい日々を送っています。

元々趣味がインドア方面なので、家にいること自体は苦ではありません。家族と話す時間も増えました。(これは良いことかも知れませんね)

しかし皆さんの趣味である合唱は、人が大勢集まらないとできないことです。集まって歌う、ただこれだけの事がこんなにも難しいのかと、歯がゆい思いがしますね。

我々音楽人は、この御時世に何ができるか、それぞれ必死に模索しています。

インターネットを利用して演奏公開、レッスン etc…音楽の火を絶やさないように。

ジャズピアニストの小曾根真さんは、自宅からのライブ配信を毎晩行い、話題になっています。リスナーのリクエストを聴きながらアドリブで演奏。

演奏の最後には「ステイホーム、また会いましょう」で締めくくります。

コロナ時代を生きる音楽家の戦い方のひとつなのかも知れません。

パソコンやスマホをお持ちの方は是非ともインターネットに目を向けてみてくださいね。

沢山のアーティストが良質な音楽を無料で公開していますよ。

新たな出会いが皆さんの音楽ライフをより豊かにしてくれるかも知れません。

辛い時期も素敵な音楽で心をいっぱいにして、また会える日まで乗り切りましょう！

二宮悠太

私の息子もヤマハ等で教え、ライブ活動もしておりましたが、3月から教室は閉鎖。ライブもクラスター発生を考慮して、中止しました。音楽で生活している人は、収入の道を断たれ、生活を維持することが大変な状況だと思います。

そういう中で、「道」に関わる方々に幾ばくかの支援ができることは、個人的には大変うれしいお知らせです。

合唱団「道」らしい、心温まる決定だと思います。コロナウィルスの感染が拡大している中、運営委員の方々が団の運営のために奮闘されていることに、感謝申し上げます。(安部 哲夫)

《お詫びと訂正》

先週号の中山先生のメッセージで最後の1行の文章がパソコンミスにより隠れてしまいました。

「合唱練習の再開を心待ちにしています。(2020年4月20日)」

大切な言葉を落としてしまい申し訳ございませんでした。

上記追加してお詫び申し上げます。

(朝倉きみ子)

※ 5月6日(水)の運営委員会は中止致します。